

受験番号

(禁無断転載)

氏名

生年月日 . . .

3 級

解 法 力 完 成 答 練
問 題 ・ 答 案 用 紙

(制限時間 60分)

受験者への注意事項

1. 答えは、指示に従い定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
2. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンシルを使用してください。仕訳問題の解答の記入方法は、裏表紙を確認してください。
3. 問題の余白、答案用紙太線の囲み以外の余白は計算スペースとしてご使用ください。

【本 科 生】 2022年6月目標

【直前対策】 2022年3月～2022年6月受講用 (2022年度前期)

第 1 回



002-6332-1022-12

第1問 (45点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、答案用紙の（ ）に記号で解答すること。

1. 出張から帰社した社員より以下の出張旅費等精算書が提出され、添付されていた領収書の確認を行った上で、概算払いしていた¥60,000との差額を現金で支払った。

出張旅費等精算書			
支払先	摘要	領収書	金額
J R名古屋駅	乗車券代	☒	¥ 22,700
東海観光(株)	タクシー代	☒	¥ 19,100
ビジネスイン愛知	宿泊代	☒	¥ 19,600
	合 計		¥ 61,400

- ア 現金 イ 前払金 ウ 仮払金 エ 立替金 オ 旅費交通費 カ 雑損
2. 法人税をA銀行の当座預金口座から振り込みにより支払い、下記の領収済通知書を控えとして保管した。

領 収 済 通 知 書			
科目	本 税	¥310,000	納期等 ×5.04.01
法人税	〇〇〇税		の区分 ×6.03.31
	△△△税		中間申告 確定申告
	×××税		
	□□□税		
	合計額	¥310,000	
住所	岐阜県岐阜市××		
氏名	岐阜商事(株)		

出納印
×5.10.20
A銀行

- ア 現金 イ 当座預金A銀行 ウ 普通預金A銀行 エ 仮払法人税等 オ 法人税等 カ 雑損
3. 売掛金¥140,000について、先方の承諾を得て、電子記録債権の発生記録を行った。
- ア 売掛金 イ 電子記録債権 ウ 買掛金 エ 電子記録債務 オ 売上 カ 仕入
4. 電子記録債務¥90,000の支払期日が到来し、普通預金口座より引き落とされた旨連絡を受けた。
- ア 普通預金 イ 当座預金 ウ 売掛金 エ 電子記録債権 オ 買掛金 カ 電子記録債務
5. 期首に取得原価¥300,000、帳簿価額¥180,000の備品を¥200,000で売却し、代金のうち¥60,000は先方振り出しの小切手で受け取り、残りは月末に受け取ることにした。なお、減価償却の記帳は間接法によっている。
- ア 現金 イ 未収入金 ウ 備品 エ 減価償却累計額 オ 固定資産売却益 カ 固定資産売却損
6. 本日、B銀行の定期預金¥2,000,000が満期を迎えたため解約し、利息¥2,000とともにB銀行の普通預金口座へ預け替えた。なお、当社は複数の銀行口座を所有しているため、銀行ごとに勘定を設けている。
- ア 普通預金A銀行 イ 普通預金B銀行 ウ 定期預金A銀行 エ 定期預金B銀行 オ 受取利息
- カ 支払利息
7. 決算において、仮払消費税勘定残高が¥286,000、仮受消費税勘定残高が¥451,000であったので、納付すべき消費税の額を未払消費税として計上した。
- ア 仮払消費税 イ 仮払法人税等 ウ 仮受消費税 エ 未払消費税 オ 未払法人税等
- カ 法人税、住民税及び事業税
8. 当期に発生した売掛金¥75,000が回収不能となった。なお、貸倒引当金残高が¥30,000ある。
- ア 売掛金 イ 買掛金 ウ 貸倒引当金 エ 償却債権取立益 オ 貸倒損失 カ 貸倒引当金繰入

解法力完成答練 第1回 答案用紙

3 級 ①

商 業 簿 記

総 合 点

採 点 欄

第
1
問

第1問 (45点)

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
1	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
2	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
3	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
4	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
5	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
6	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
7	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
8	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	

(次ページに続く)

9. 石川㈱に¥2,000,000を貸し付け、同額の同社振出しの約束手形を受取り、利息を差し引いた残額を当社の普通預金口座から石川㈱の当座預金口座に振り込んだ。なお、貸し付け期間は4ヵ月であり、年利率は3.6%である。

ア 普通預金 イ 当座預金 ウ 受取手形 エ 手形貸付金 オ 受取利息 カ 支払利息

10. 出張中の従業員から普通預金口座へ¥61,000の振り込みがあったが、その内容は不明である。

ア 普通預金 イ 仮払金 ウ 仮受金 エ 前払金 オ 前受金 カ 現金過不足

11. 決算整理後の次の勘定残高について損益勘定へ振り替えた。

仕 入：¥4,350,000 給 料：¥590,000 支払家賃：¥288,000 支払利息：¥7,000

ア 繰越利益剰余金 イ 仕入 ウ 給料 エ 支払家賃 オ 支払利息 カ 損益

12. 取締役会の決議により、未発行株式のうち100株を1株の払込金額¥350,000で発行し、全株式について払い込みを受け、払込金額を当座預金とした。

ア 当座預金 イ 未払配当金 ウ 資本金 エ 利益準備金 オ 繰越利益剰余金 カ 損益

13. 現金の実際有高が帳簿残高より¥4,000不足していたので現金過不足勘定で処理していたが、期末をむかえ決算手続中に原因調査を継続していたところ、発送費の支払額¥3,100、通信費の支払額¥1,400および手数料の受取額¥800が記載漏れとなっていたことが判明した。原因不明分は雑損で処理することにした。

ア 現金 イ 現金過不足 ウ 受取手数料 エ 発送費 オ 通信費 カ 雑損

14. かねて注文していた商品¥460,000を本日受取った。なお、同商品を注文した際に手付金として¥270,000を支払っており、代金の残額は月末に支払う予定である。また、引取費用¥13,000を現金で支払った。

ア 現金 イ 前払金 ウ 買掛金 エ 前受金 オ 仕入 カ 発送費

15. 商品¥350,000に発送費用¥4,000を加算した合計額で販売し、掛けおよび売上とした。なお、運送業者に商品を引き渡し、発送費用¥4,000を現金で支払った。

ア 現金 イ 売掛金 ウ 買掛金 エ 売上 オ 仕入 カ 発送費

解法力完成答練 第1回 答案用紙

3 級 ②

商 業 簿 記

採 点 欄

第
1
問

(前ページより)

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
9	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
10	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
11	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
12	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
13	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
14	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
15	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	

第2問 (20点)

(1)

以下に示す＜借り入れと利息に関する資料＞にもとづき、答案用紙の支払利息勘定、未払利息勘定および前払利息勘定の（ ）にあてはまる適切な金額を記入しなさい。なお、当期は×3年4月1日から×4年3月31日までの1年である。

＜借り入れと利息に関する資料＞

1. ×3年2月1日に富山(株)より期間5ヵ月、利率年2.4%、元利一括返済の条件で¥30,000を借り入れ、借用証書を渡した。この借入金は、×3年6月30日に元本と利息を一括返済し、借用証書を回収した。
2. ×3年7月1日に長野銀行より期間1年、利率年3.6%、元利一括返済の条件で¥50,000を借り入れ、借用証書を渡した。
3. ×3年12月1日に静岡(株)より¥60,000を約束手形を振り出して借り入れ、借入期間6ヵ月分の利息¥900を差し引かれた金額を受け取った。
4. 利息については支払利息勘定を用いて処理するが、決算において、未払い分を未払利息勘定により、また、前払い分を前払利息勘定により調整を行っている。なお、利息の計算は月割計算による。また、経過勘定項目の再振替仕訳は、期首に行っている。
5. 受け払いは、すべて当座取引により行っている。

3 級 ③

商業簿記

採点欄

第
2
問

第2問 (20点)

(1)

支 払 利 息

×3/6/30	当座預金	()	×3/4/1	未払利息	()
×3/12/1	手形借入金	()	×4/3/31	前払利息	()
×4/3/31	未払利息	()	〃	損益	()
		<u>()</u>			<u>()</u>

未 払 利 息

×3/4/1	支払利息	()	×3/4/1	前期繰越	()
×4/3/31	次期繰越	()	×4/3/31	支払利息	()
		<u>()</u>			<u>()</u>

前 払 利 息

×4/3/31	支払利息	()	×4/3/31	次期繰越	()
---------	------	-----	---------	------	-----

(2)

次の文章中の空欄にあてはまる適切な語句を下記の語群から選び記号で解答欄に記入しなさい。

1. 他人振出の小切手、郵便為替証書および送金小切手などの（ ① ）は、すぐに金融機関で通貨に換金ができるもので、簿記ではこれらを紙幣や硬貨同様に現金勘定で処理する。
2. 固定資産を購入したときには、その本体の代金に購入手数料等の付随費用を加算した（ ② ）で固定資産勘定の借方に記入する。
3. 株式会社では株主が資金を提供し、取締役が経営管理を行う。これを（ ③ ）という。なお、取締役の選任や解任、会社組織の運営管理などに関する重要事項は、会社の最高意思決定機関である（ ④ ）で決議する。

[語群]

ア	約 束 手 形	イ	当 座 預 金	ウ	株 主	エ	資 本 金
オ	定 期 預 金	カ	取 締 役 会	キ	取 得 原 価	ク	所有と経営の分離
ケ	株 主 総 会	コ	通貨代用証券	サ	普 通 預 金	シ	購 入 代 価

3 級 ④

商 業 簿 記

採 点 欄	
第 2 問	

(2)

①	②	③	④

第3問 (35点)

群馬(株)の(1)決算整理前残高試算表および(2)決算整理事項等にもとづいて、答案用紙の貸借対照表および損益計算書を完成しなさい(会計期間：×6年4月1日～×7年3月31日)。

(1) 決算整理前残高試算表

×7年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
845,600	現 金	
	現 金 過 不 足	4,100
1,268,600	当 座 預 金	
410,000	電 子 記 録 債 権	
655,000	売 掛 金	
	貸 倒 引 当 金	2,300
3,600	前 払 諸 会 費	
10,800	仮 払 金	
53,000	仮 払 法 人 税 等	
241,400	繰 越 商 品	
1,800,000	備 品	
	減 価 償 却 累 計 額	450,000
	買 掛 金	316,000
	借 入 金	500,000
	資 本 金	3,000,000
	利 益 準 備 金	385,700
	繰越利益剰余金	25,900
	売 上	6,152,300
	受 取 手 数 料	269,800
2,460,700	仕 入	
1,352,900	給 料	
256,000	通 信 費	
495,400	旅 費 交 通 費	
1,236,000	支 払 家 賃	
17,100	租 税 公 課	
11,106,100		11,106,100

(2) 決算整理事項等

1. 前期末に計上した前払諸会費にかかる再振替仕訳を行っていなかった。また、×6年8月1日に支払った諸会費については、仮払金勘定で処理しているためこれを修正する。
2. 現金過不足¥4,100(貸方残高)について原因を調査したところ¥3,500の受取手数料の記帳もれがあることが判明したが、残額については原因不明である。
3. 郵便切手¥3,100、収入印紙¥1,100の未使用分を貯蔵品勘定へ振り替える。郵便切手および収入印紙は、購入時にそれぞれ通信費勘定、租税公課勘定で処理している。
4. 売上債権期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
5. 期末商品棚卸高は¥259,900である。
6. 備品について定額法(残存価額ゼロ、耐用年数8年)で減価償却を行う。なお、備品のうち¥600,000は×6年12月1日に取得したものであり、月割計算すること。
7. 諸会費は前期より每期8月1日に同額を向こう1年分として支払っており(上記1.)、期中支払額に含まれる次期分の前払処理を行う。
8. 借入金は、×6年12月1日に年利率3.6%、期間1年で借入れたものであり、利息は元金とともに返済時に支払うことになっている。当期の支払利息について月割計算し未払処理を行う。
9. 当期の利益に対する法人税、住民税及び事業税が¥126,000と計算されたため、仮払法人税等勘定で処理されている中間納付額を差し引いた残額を未払法人税等として計上する。

解法力完成答練 第1回 答案用紙

3 級 ⑤

商 業 簿 記

採 点 欄

第
3
問

第3問 (35点)

貸 借 対 照 表

群馬(株)

×7年()月()日

(単位：円)

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金	845,600	買 掛 金	316,000
当 座 預 金	1,268,600	借 入 金	500,000
電子記録債権	()	未払法人税等	()
()	(△) ()	未 払 費 用	()
売 掛 金	()	資 本 金	3,000,000
()	(△) ()	利 益 準 備 金	385,700
()	() ()	繰越利益剰余金	()
貯 蔵 品	()		
前 払 費 用	()		
備 品	1,800,000		
()	(△) ()		
	() ()		()

損 益 計 算 書

群馬(株)

×6年()月()日 ～ ×7年()月()日

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
()	()	()	()
給 料	1,352,900	受 取 手 数 料	()
通 信 費	()	雑 益	()
旅 費 交 通 費	495,400		
支 払 家 賃	1,236,000		
租 税 公 課	()		
諸 会 費	()		
貸倒引当金繰入	()		
減 価 償 却 費	()		
支 払 利 息	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
()	()		
	()		()

仕訳問題を解答する際の注意事項

以下のように、仕訳問題の解答にあたっては、勘定科目の使用は、借方・貸方の中でそれぞれ1回ずつとしてください（各設間で、同じ勘定科目を借方・貸方で2回以上使用すると、不正解となります。）

例) (仕入)	10,000	(現金)	2,000
		(買掛金)	8,000

ア 現金 イ 買掛金 ウ 仕入

○：正答

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
1	(ウ)	10,000	(ア)	2,000
	()		(イ)	8,000
	()		()	
	()		()	

×：誤答

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
1	(ウ)	2,000	(ア)	2,000
	(ウ)	8,000	(イ)	8,000
	()		()	
	()		()	
	()		()	